

平成28年度

第1回 学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載	
済・未	7月15日掲載予定

岐阜県立羽島特別支援学校

校長 出口 和宏

所在地 羽島市正木町大浦230-1 TEL 058-392-8181

1 会議の名称 岐阜県立羽島特別支援学校評議員会

2 会議の構成

委員 (五十音順・敬称略)

味岡 巖	大浦区長
臼井 麻紗杜	日本ウエストーン株式会社
川合 宗次	岐阜羽島ボランティア協会 事務局長
安田 千恵美	正木町子供会代表
一柳 聡子	P T A代表

学校職員

出口 和宏	校長
古池 浩	教頭
小林 慎一郎	事務長
後藤 睦子	小学部主事
鷺野 恵一	中学部主事
上浦 清彦	高等部主事
井川 匡	教務主任
栗本 幸江	作業主任 (途中より)

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日時：平成28年6月22日(水) 午前10時00分～11時30分
場所：羽島特別支援学校 会議室
出席者：委員5人 学校職員8人

- 5 会議の概要
- (1) 校長挨拶
 - (2) 委嘱状交付
 - (3) 自己紹介
 - (4) 学校概要について
 - (5) 授業参観
 - (6) 作業製品の価格設定について
 - (7) 評議

6 会議の内容

- 校長挨拶 (略)
- 自己紹介 (略)
- 学校概要

4月11日に開校することができた。

転入生が1名あり、現在117名の児童生徒が在籍している。

地域の方より多くの期待や協力をいただいている。

- 授業参観及び施設見学 (略)
- 作業製品の価格設定について (略)
- 評議について (意見及び感想)

委員1 子どもの頑張りを感じた。先生も一緒に成長されることを期待している。
7月12日(水)のカフェのオープンを期待している。学校の雰囲気を楽しんでいきたい。

委員2 価格について。作業製品が1か月にどれくらいの数を作れるのか、見当がついているのか。
できたものを売るのか。それとも注文販売としていくのか。少ししか作れない場合は注文販売の方法もある。
会社の場合だと、工賃も必要になってくる。付加価値を高めていく必要があるのではないだろうか。
市場価格は、社会資源と結びつけた上で価格を設定する。高くても、珍しいもの、価値のあるものだと、消費者は購入する。

職員1 窯業の植木鉢についても、丸ではなく、市場にあまり出していない、四角い植木鉢を考案した。今後は同じ規格になるよう練習を積んでいきたい。

委員3 作業製品の価格については、利用者も社会の仕組みを知っていくうえで必要である。売り方については、今後どのようにされるのか？

委員4 正木町の三大まつりは、町民運動会、盆踊り、夢まつりがある。盆踊りや夢まつりの時に作業製品の販売や作品の展示を行ったらどうか。地域の方へのアピールにもなり、理解啓発につながるのではないか。地元の小学校の小規模単位で交流することで、一緒に作業(活動)する楽しさを味わうことができるのではないかと思う。

委員5 温かい目で地域の方に見ていただいて、感謝している。
作業製品については、陶芸製品は、全体的に高いと感じる。粘土の厚みなどをもう少し薄くし、統一した感じにしてはどうか。また、さをり製品に

については、さをりの部分を少なくするなど工夫し、価格を下げたほうが良いと思う。

職員 2 今後、価格については随時下げる方向で見直していきたいと考える。

○まとめ

この2か月余りの間に、他の特別支援学校とそんな色ない教育活動が行われていることについて、先生方に感謝したい。特に校内作業学習や就業体験が、生徒の実態に合わせて行われている。

作業製品については、需要や生産能力についても検討を加えたりして、価格なども見直していく必要がある。現在の価格を上限にして検討をしてほしい。

今後、多目的室を使った「ロータスカフェ」のオープンには期待しているし、地域のいろいろな行事への参加へも期待している。